

S I A認定テレマークスキー教師検定実施要綱

<資 料>

検定規程に基づき、検定を行うためにこの実施要綱を定める。

テレマークスキー・ステージ I

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集 合 講 習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

科目はSIA公式メソッドからとする。ただし、事情により変更することができる。

○SIA理念 ○SIA会員の心得 ○マナーの基本

○テレマーク初心者の指導方法と注意事項 ○スキー場管理区内での心得

○SIA教師資格とメダル検定

2. 実 技

(1) 集 合 講 習

所定の集合講習修了後に検定を行う。また公認スキー学校長が修了証明書を協会へ提出することとする。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○シュテムテレマークターン ○基礎テレマークターン

ロ. 採点方法

公認スキー学校長または公認スキー学校長が委嘱した1名のステージIV（テレマークスキーイグザミナー「以下TMイグザミナー」含む）活動会員によって採点する。

採点は100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

3. 指 導 実 習

(1) 集 合 講 習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○SIA公式メソッドの準備過程～基礎テレマークターンの導入までの指導の流れ

○レッスンをを行うスキー場の実情にあわせた心得と安全管理

テレマークスキー・ステージ II

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集 合 講 習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○対象に応じた指導法・技術検定 ○教師の心得 ○作文

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはTMイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集 合 講 習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○基礎テレマークターン ○バックステップターン
○テレマークターン・ロング ○テレマークターン・ショート

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはTMイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

3. 指 導 実 習

(1) 集 合 講 習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはTMイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

120点以上を合格点とする。

テレマークスキー・ステージⅢ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集 合 講 習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

○外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
○雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
○対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはTMイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通 信 講 習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○力学 ○救急法 ○スノースポーツの変遷 ○技術指導法
- 雪山の安全対策論 ○指導者論・技術検定（メダル）
- 対象に応じた指導（障がい者スキー）

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはTMイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3カ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集 合 講 習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- フロントステップターン ○テレマークターン・ロング
- テレマークターン・ショート ○総合滑降

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはTMイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

3. 指 導 実 習

(1) 集 合 講 習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成 ○個人指導 ○集団指導 ○対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはTMイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

ハ. 合 否

140点以上を合格点とする。

テレマークスキー・ステージⅣ

1. 種目の特性に応じた基礎理論

(1) 集合講習

受検者は所定科目を受講する。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 採点方法

会長が委嘱した講師またはTMイグザミネーによって採点し、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

(2) 通信講習

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 外国語 ○スノースポーツ産業の現況 ○施設・経営論
- トレーニング論・基礎と専門 ○コンディショニング ○技術論
- 技術指導法 ○スキーの山岳と気象・雪崩

ロ. 出題及び採点方法

会長が委嘱した講師またはイグザミネーが出題し、通信講習修了後最低3カ月間でレポートを提出する。採点は出題者が行い、100点満点とする。

ハ. 合 否

60点以上を合格点とする。

2. 実 技

(1) 集合講習

所定の集合講習修了後に検定を行う。

イ. 科 目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- テレマークターン・ロング ○テレマークターン・ショート
- 総合滑降（規制<リズム変化の規制>） ○フリー滑降（不整地含む）
- ※ゲート滑降

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはTMイグザミネーによって採点し、2名の合計点とする。採点は200点満点とする。

※ゲート滑降は体験のみとする。

ハ. 合 否

160点以上を合格点とする。

3. 指導実習

(1) 集合講習

所定の指導実習の集合講習修了後に指導の検定を行う。

イ. 科目

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- 指導計画の作成
- 個人指導
- 集団指導
- 対象に応じた指導
- 指導実施後の評価

ロ. 採点方法

会長が委嘱した2名の講師またはTMイグザミネーターによって採点し、2名の合計点とする。

採点は200点満点とする。

ハ. 合否

160点以上を合格点とする。